

空家等実態調査の進捗状況について

- ・令和6年9月5日現在の調査の状況（全体の7割程度）は以下のとおりです。

1 【表1 空き家等の可能性の判定】

	判定	件数	率
1	空き家の可能性高	192	40.3%
2	判断できない	71	14.9%
3	空き家ではない	213	44.8%
	計	476	100.0%

2 【表2 老朽・危険度の判定】

<危険度> 低い  高い

判定基準		<危険度>				計
		A	B	C	D	
判定		修繕がほとんど必要ない	多小の改修工事を実施すれば再利用可能	老朽化が進展している	老朽化が著しい	
	1	空き家の可能性高	40	102	49	1
2	判断できない	35	26	10	0	71
合計		75	128	59	1	263
割合		28.5%	48.7%	22.4%	0.4%	100.0%